

「防衛医科大学校病院歯科口腔外科における歯性感染症に関する実態調査」に関する研究

1. 研究の対象

2012年4月～2016年11月に当院で歯性感染症の治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

歯と歯の周囲組織への細菌感染で生じる歯性感染症は、その周囲組織に感染が波及しやすく適切な治療をうけないと重篤化する危険性があります。しかしながらどのような条件において歯性感染症が重篤化するのはいまだ明らかではありません。歯性感染症に対するより適切な治療方法を導き出すために、歯性感染症に関する実態調査を行う臨床研究を計画しました。研究期間は2018年3月末までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

受診した際に医師が作成する診療録を基に診断名、基礎疾患、原因菌、感染波及経路、検査データ、使用抗菌薬、ドレナージの有無、予後等の調査をいたします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県所沢市並木3-2

防衛医科大学校病院歯科口腔外科 村上 馨（研究責任者）

電話：04-2995-1511 内線 3095